

# 教 育 研 究 業 績

氏名 吉田 実貴人

学位： 法学（学士）、Master of Business Administration（修士）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
経営学・社会学	財務会計、国際ビジネス、企業分析	
主要担当授業科目	会計学基礎・ファイナンス・財務会計・監査論・原価計算・国際会計	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
外部セミナーの企画・構想・講師依頼・後援依頼・集客・配布冊子のための原稿作成依頼・会場手配	平成 26 年 10 月	自ら主体となって、外部セミナーを発案し、企画構想を行う。対象者への告知・集客を行い、また各種団体からの後援依頼を行った。当日受講者に配布する冊子の原稿を講師に依頼する。セミナーの参加者数・雰囲気にも適合する会場を探し、手配した。
外部セミナーの当日運営	平成 26 年 10 月	セミナーが適切に開催できるよう、担当者の役割分担決め、事前レクチャー、開催中のバックアップ等、当日全体の運営を取り仕切った。
パネルディスカッションのファシリテーション	平成 26 年 10 月	講師陣の間を取り持ち、各講師から適切な意見が出るよう、議論の方向性を誘導するファシリテーターの役割を担った。講師の専門分野を事前に把握し、議論の流れを大まかに決めておき、進行中に適切に修正していく。また議論が時間切れにならないよう、タイムマネジメントにも留意した。
遠隔 WEB 会議ツール「Zoom」を活用した授業	令和 2 年 4 月	Zoom の機能を最大限活用し、遠隔授業を実施した。画面共有機能を使って、パワーポイント資料を学生に見せながら、解説を行った。チャット機能を用いて、講義と平行して学生全員のコメントを把握した。ブレイクアウトルーム機能を使って、学生を少人数グループに分け、グループディスカッションをさせ、意見を引き出した。
Google Form を用いた授業評価アンケート用紙の回収と、授業内での質問等の回答	令和 2 年 4 月	Google Form を用いて、WEB 上で授業評価アンケートを配布・回収した。授業評価とともに、授業内でわからなかった点を質問してもらい、次回授業の際に、それぞれ回答した。これにより、理解しにくかった項目を授業時間内で解消させた。
Google Form を用いた試験の実施と、自動採点と得点集計	令和 2 年 4 月	Google Form を用いて、WEB 上で講義後の確認テスト及び期末の定期考査を実施した。回答ごとに正解不正解の自動採点と得点集計を行い、生徒評価の正確性と客観性を確保した。
E-mail アドレスを公開し、授業後における質問の受付・回答	令和 2 年 4 月	受講者に、e-mail アドレスを公開し、授業終了後においても、フォローアップを行った。これにより、受講者の疑問や質問に応えることができ、満足度向上を寄与した。
効果的なプレゼンテーションの導入	令和 2 年 4 月	デザインを統一し、フォントや大きさ、色使い等を工夫することで、受講者にとって直感的に理解しやすいプレゼンテーション資料を、パワーポイントを用いて作成した。
ワークシートを使っでの作業	令和 2 年 4 月	受講者に授業内でワークシートを渡し、それぞれ書き込む作業をさせることで、授業に集中させ、また記憶の定着を図った。
声の強弱・間を取る・スピードを調節した授業	令和 2 年 4 月	受講者に、授業への集中させるため、話し方のテンポを変え、敢えて間をとり、重要なポイントはゆっくり話す等の工夫を図った。
2 作成した教科書，教材 ワークシート	令和 2 年 4 月	受講者に、授業内でワークシートを渡し、自らアイデアを書き込む作業をさせることで、授業に集中させ、また記憶の定着を図った。

授業評価アンケート・質問用紙	令和2年4月	授業前に質問用紙を配布しておき、受講者が質問したい事項を授業内で書かせた。授業中間で回収し、その授業内で質問に対するコメントを口頭で行う。これにより、受講者の不明事項が授業時間内で解消され、満足向上に寄与した。
投影用スライド	令和2年4月	デザインを統一し、フォントや大きさ、色使い等を工夫することで、受講者にとって直感的に理解しやすいプレゼンテーション資料を、パワーポイントを用いて作成した。
投影用スライドと内容を変えた配付資料	令和2年4月	敢えて投影用スライドと、配付資料を変えることで、授業に集中させることができた。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
法政大学 経営学部特殊講義 キャリアプランの立て方	平成20年10月	参加した学生からの満足度評価アンケートで高評価を得た。
法政大学 経営学部特殊講義 不動産と金融の融合	平成22年6月	参加した学生からの満足度評価アンケートで高評価を得た。
国際ファッション専門職大学 会計入門	令和2年4月～令和8年3月	ファッションビジネスの観点から会計の扱い方を平易に講義を行った。参加した学生からの満足度評価アンケートの総合評価で5点満点中平均4.5点の高評価を得た。
国際ファッション専門職大学 産業論入門	令和4年10月～令和8年3月	ファッション産業を多角的な観点から分析し、将来の判断に役立てる講義を行った。参加した学生からの満足度評価アンケートで高評価を得た。
国際ファッション専門職大学 創造産業論	令和5年4月～令和8年3月	ファッション産業を多角的な観点から分析し、将来の判断に役立てる講義を行った。参加した学生からの満足度評価アンケートの総合評価で5点満点中平均4.3点の講師中で最高評価を得た。
東京福祉大学 簿記	令和3年4月～令和5年3月	参加した学生からの満足度評価アンケートで高評価を得た。
東京福祉大学 金融論	令和3年4月～令和5年3月	参加した学生からの満足度評価アンケートで高評価を得た。
東京福祉大学 会計学	令和4年4月～令和5年3月	参加した学生からの満足度評価アンケートで高評価を得た。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
東京農工大学 ベンチャービジネスの資金調達 講師	平成16年1月	ベンチャー企業向けに、資金調達の重要性、困難性を踏まえた上で、実例等を解説。
国税庁税務大学校 シンガポール税制の概要 講師	平成20年9月	税務署の中堅職員向けに、シンガポールの予算案や税制の概要、変更点、留意すべき点等を解説した。
法政大学 経営学部特殊講義 キャリアプランの立て方 講師	平成20年10月	大学生向けに、キャリアプランの作り方の概要を示し、実際に講義中に学生それぞれのキャリアプランのファーストバージョンを作らせた。
法政大学 経営学部特殊講義 不動産鑑定論 講師	平成21年7月	大学生向けに、不動産鑑定制度における鑑定評価の概要、評価方法、評価の利用方法等を解説した。
法政大学 経営学部特殊講義 不動産と金融 講師	平成22年6月	大学生向けに、不動産投資の基本スキームを紹介し、投資利回りを最大化するための、ファイナンシャル・レバレッジの仕組みとその活用方法、実際の計算例を紹介した。
東千葉メディカルセンターについての経営分析 講師	平成29年1月	一般市民向けに、複雑な病院経営の仕組みを解説し、持続的な病院運営にあたっての課題と、その解決策を提案した。

国際ファッション専門職大学 講師	令和2年4月	会計入門・創造産業論・地域産業論・産業論入門の講師として、ファッション業界を中心に、実際の企業の実例を紹介しながら、起業を目指す学生向けにビジネスにフォーカスした授業を行った。
東京福祉大学 講師	令和3年4月	簿記・金融論・会計学の講師として、初学者を対象にわかりやすく、導くような授業を行った。
東京成徳大学 講師	令和8年4月	会計学基礎・ファイナンス・財務会計講座の講師として、講義を行っている。
5 その他 学校法人先端教育機構 先端教育研究所 実務家教員養成課程 受講	令和元年8月	実務家教員となるべく、シラバス作成・教授法・論文執筆・成人教育論・ファシリテーション・研究指導等を学んだ。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許 不動産鑑定士 公認会計士 税理士	平成7年2月 平成12年4月 平成23年12月	登録番号 5715 登録番号 15718 登録番号 120033
2 特許等		特になし
3 実務の経験を有する者についての特記事項 中央監査法人  PricewaterhouseCoopers Singapore (プライスウォーターハウスパーパス シンガポール) マネージャー  PwC アドバイザリー株式会社 Deals 部 シニアマネージャー  いわき市議会議員  監査法人長隆事務所  国際ファッション専門職大学 講師	平成8年10月～平成12年5月  平成17年5月～平成19年12月  平成20年1月～平成24年6月  平成24年10月～令和2年9月  平成30年5月～現在に至る	東京証券取引所をはじめとする株式公開市場への上場を目指す顧客に対し、公開基準を達成できるよう指導し、株式上場に至るまでのさまざまなサポートを行った。上場基準を満たすための会社の経営理念や内部統制、社内会計制度の指導、株価算定等を行う。株式公開前後の顧客及び経営者の変化をつぶさに見ることで、オカネの重要性、恐ろしさ、人間の欲望、世の中のオカネの流れ等を学ぶ。JASDAQ 上場を目指す不動産会社の公開前の指導から公開後の会計監査まで、5人の監査スタッフを率いて、現場主査を務めた。  シンガポールへ進出している日系企業向けに、国際会計基準・監査基準で会計指導、会計監査業務を行った。また顧客企業及び経営者からの法人税・個人所得税の税務相談、外部向けにシンガポール税制・予算セミナー等を行う。現地日本人社長とシンガポール会計士との橋渡しの役割を果たす。シンガポール人の上司の下、シンガポール人の部下5名を率いて、英語で会計監査チームを率いた。  企業再編に伴う M&A の財務調査 (財務デューデリジェンス) 等を行い、秘密保持契約を結んだ上で、対象会社の膨大な財務データを開示して貰い、短期間で対象会社の事業内容、強み・弱み、財務上の問題点、買収上優位しなくてはならない点等を、財務の専門家でない経営者にもわかりやすく報告書を作成した。日本の大手電機メーカーのハードディスク事業再編時においては、財務デューデリジェンスの現場主査として、全体の取引価格の交渉材料を提供した。  市議会議員・公認会計士として、未だ2011年の東日本大震災からの復興を成し遂げていない、生まれ育ったふるさといわき市に対し、これまで培ってきた財務分析等の経験を活かし、各種施策の支出・投資の経済性、効率性、有効性についての提言を行った。  監査法人のパートナーとして、企業の経営分析・財務調査を行い、現状分析し、業績回復の改善提案を行った。

	令和2年4月～令和8年3月	会計入門講座の講師として、アパレル業界を題材とし、実際の企業の実例を紹介しながら、起業を目指す学生向けにビジネスにフォーカスした授業を行った。
	令和4年4月～令和8年3月	産業論入門講座の講師として、ファッションに関わるさまざまな産業の歴史や発展の背景等を明らかにし、業界の今後の予測や、学生のキャリア選択に役立つような授業を行った。
東京福祉大学 講師	令和4年10月～令和5年3月	地域産業論講座の講師として、地方衰退の背景や原因を明らかにし、地域活性化や地域おこしのケーススタディを取り上げ、その成功や失敗の要因を分析し、どのようなスタンスや態度で地域経済を維持していくかを学生と検討した。
東京成徳大学 講師	令和5年4月～令和8年3月	創造産業論講座の講師として、知的財産を生み出す産業は人の創造性であることにフォーカスした授業を行った。
	令和3年4月～令和5年3月	簿記講座の講師として、初学者向けに簿記3級合格まで導く講義を行った。
	令和8年4月～現在に至る	会計学基礎・ファイナンス・財務会計講座の講師として、講義を行っている。
4 その他		該当なし

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 公立病院のための地方独立行政法人設立・運営マニュアル Q&A	共著	令和3年10月	日本医療企画	地方独立行政法人の設立や移行準備、管理運営手法を Q&A でわかりやすく解説! ・公立病院の経営改革や独立化の実務を知る専門家・病院経営者等が執筆! ・公立病院の再編統合・経営効率化に関する事例、国の政策やこれからの経営のあり方に迫るインタビューを、多面的に解説した。 全 391 頁。編者：中央青山監査法人、共著者：田中俊之、栗原学、鬼頭朱実、市川克也、森川祐亨、愛葉真樹、長谷川英司、吉田実貴人、今村恭子、中村賢次 本人担当部分：第 1 章 地方独立行政法人の設立・移行準備 112 頁～158 頁
2 アジア M&A ガイドブック	共著	平成 22 年 1 月	中央経済社	企業の合従連衡 (M&A) 件数が増加しているアジア地域の国々に、オーストラリアを加えた 11 の国と地域の M&A マーケットの状況、実例、投資規制、環境、税制および実務上の留意点を解説した。 全 638 頁。編者：プライスウォーターハウスクーパース株式会社、税理士法人プライスウォーターハウスクーパース、共著者：吉永秀宣、瀬川直樹、小黒健三、川村健、坂本和優、木下智幸、舟引勇、平林康洋、片岡万枝、吉田実貴人、岩嶋泰三、古賀淳一、金澤信隆、三宅修、山岸哲也、白崎亨、蒲池茂、本多崇志、高島淳、高野公人、松永智志、白土晴久、鈴木俊二、伊藤耕一郎 本人担当部分：第 8 章 シンガポール共和国 416 頁～469 頁
3 株式公開マニュアル	共著	平成 15 年 6 月	税務研究会	株式公開を目指す企業はもとより、これらの企業をサポートする証券会社・銀行・ベンチャーキャピタル・監査法人・公認会計士・税理士・経営

				<p>コンサルタントなど、広く株式公開の業務に係わる方々に役立てることを意図し解説した。株式公開の意義、メリット・デメリット、諸基準等の一般的解説のほか、特に、公開準備の主要事項である経営管理体制の整備方法や申請書類のつくり方、審査のポイントなどの実務的な点に重点を置き、詳細な解説を行った。</p> <p>全 818 頁。編者：中央青山監査法人、共著者：飯畑史朗、飯室進康、石崎勝夫、市川亮悟、岩谷朗、小沢直也、押尾万里子、小野隆弘、菅田裕之、栗原学、齊藤晃一、佐藤浩司、柴田篤、田島誠士、田中博之、中村京子、新居伸浩、西野吉隆、橋本智明、林広隆、古川孝之、三浦太、三間信彦、向井誠、矢野浩一、山崎倫明、吉田実貴人、渡辺淳。</p> <p>本人担当部分：第 1 章 株式公開の意義 3 頁～15 頁</p>
4	知的財産ビジネスハンドブック	共著	平成 14 年 11 月	日経 BP 社 <p>知的財産の活用事例、評価、マネジメントなど、公認会計士の視点で詳しく丁寧に解説した。大学の知的資産を権利化して、社会に還元する仕組み作りを紹介した。知的財産の具体的な評価法として、知的資産の再調達に必要な金額を測定する方法（コストアプローチ）や市場の合意で生まれる実際の取引価格を測る方法（マーケットアプローチ）などを示した。また、ブランド価値を貸借対照表に資産計上した事例や、関連する税務知識、資金調達法などについても解説し、経営上留意すべき事項を解説した。</p> <p>全 221 頁。編者：中央青山監査法人、共著者：石井誠、田島照久、吉田実貴人、舟引勇、齊藤晃一、村上勝、伊沢敏一、南部聡、諸藤史朗、栗本興治、八木幸司、山田雅弘、佐藤江司、熊本浩明、高橋孝治、関根愛子、長谷川英司、木村章展、大石克洋、鬼頭朱実、高木宏、中村賢二、山村百合子、宮嶋大輔、鈴木学、米岡光二郎、大池義人、織田耕二、池田和明、齊藤政久、今枝昌宏</p> <p>本人担当部分：第 1 章 知的財産を活用するために及び用語集 7 頁～36 頁、222 頁～225 頁</p>
5	減損会計の仕組みと対策	共著	平成 13 年 12 月	中央経済社 <p>米国基準や国際基準、時価評価の問題にも言及した上で、経営者や、経理実務担当者向けに、その基準化の動向と、導入時のインパクト、基準化前後にすませおくべき対策をわかりやすく解説した。</p> <p>全 226 頁。共著者：栗原学、山田徳昭、長谷川英司、吉田実貴人</p> <p>本人担当部分：第 6 章 減損会計に欠かせない不動産の時価評価 167 頁～200 頁</p>
6	経営者のための JASDAQ 上場	共著	平成 13 年 9 月	中央経済社 <p>JASDAQ 上場のために、必要となる事項を厳選し解説した。JASDAQ 市場へ株式公開を目指す経営者向けに、株式公開の意義、メリットとデメリット、手続、満たさなければならない要件等を解説した。</p> <p>全 255 頁。編者：中央青山監査法人、共著者：山崎博行、三浦太、石井誠、小野隆弘、小野坂彰、川口宗夫、齊藤晃一、田子晃、田島照久、秦徹、山田和弘、吉田実貴人</p> <p>本人担当部分：第 1 章 他市場との比較 78 頁～89 頁</p>
7	不動産投信の実務	共著	平成 13 年 7 月	中央経済社 <p>不動産投資信託の概要から、新規組成にかかる東証上場基準の内容、開示上の留意点、スキーム組成上不可欠な税務上の問題点まで、多面的に解説した。</p> <p>全 391 頁。編者：中央青山監査法人、共著者：田中俊之、栗原学、鬼頭朱実、市川克也、森川祐亨、愛葉眞樹、長谷川英司、吉田実貴人、今村恭子、中村賢次</p> <p>本人担当部分：第 5 章 日本版 REIT における不動産の評価 112 頁～158 頁</p>
:				

(学術論文)				該当なし
1				
2				
3				
:				
(その他)				該当なし
1				
2				
3				
:				

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。